

明德中学校



保育所で職場体験



施設でふれあい



街頭募金活動

[illegible]

た	い	「	家	に	帰	リ	た	い	「	と	毎	日	の		
よ	う	に	話	す	お	年	寄	リ	も	い	る	と	聞	き	
ま	し	た	。												
	お	年	寄	リ	の	中	に	は	、	認	知	症	に	な	
	っ	て	し	ま	う	人	も	い	ま	す	。	認	知	症	は
薬	を	飲	む	こ	と	で	進	行	を	お	さ	え	る	こ	
と	が	で	き	る	病	気	で	す	。	し	か	し	、	家	
族	の	人	が	認	め	る	こ	と	が	で	き	ず	、	精	
神	科	を	受	診	す	る	こ	と	を	拒	み	、	薬	を	
飲	ま	せ	た	が	ら	な	い	こ	と	が	あ	る	そ	う	
で	す	。	も	っ	と	家	族	の	理	解	が	必	要	な	
の	で	は	な	い	で	し	よ	う	か	。					
	ま	た	、	年	を	と	る	と	飲	み	込	み	が	わ	
る	く	な	り	、	食	べ	物	が	詰	ま	っ	て	呼	吸	
困	難	に	な	っ	た	り	、	時	に	は	死	に	至	る	

て	お		知	に	知	っ	活	一	は	の	と	る		こ
施	年	私	症	で	に	て	を	生	人	よ	答	と	認	と
設	寄	は	に	も	な	い	送	懸	生	う	え	ハ	知	も
で	リ	、	な	バ	っ	る	っ	命	の	に	る	十	症	あ
過	が	こ	な	の	て	か	て	働	中	答	こ	を	の	り
ぎ	一	の	っ	中	も	ら	い	い	で	え	と	過	お	ま
し	人	こ	も	に	、	だ	た	て	最	る	が	ぎ	年	す
て	一	と	良	残	良	と	頃	い	も	理	あ	て	リ	
い	人	を	い	る	い	聞	の	き	輝	由	る	い	に	
る	い	き	思	り	き	き	記	き	い	の	そ	て	年	
と	ろ	っ	い	だ	し	ま	憶	と	て	一	う	も	齡	
い	んな	か	と	と	た	し	が	残	は	つ	で	三	を	
う	思	け	初	初	は	た	強	生	人	は	す	十	尋	
こ	い	に	め	め	誰	。認	く				そ	五	ね	
と			て	て			残							

て	よ	テ		な	い	寂	行	手	家	ら		大	う	を
い	う	イ	現	る	ま	し	っ	毛	の	し	私	変	す	感
ま	に	ア	在	人	す	さ	て	な	中	の	の	だ	る	じ
す	市	で	、	も	。モ	を	く	く	で	お	住	と	こ	ま
が	町		お	い	し	抱	れ	、	た	年	ん	思	と	し
	村	地	年	る	か	え	る	外	っ	寄	で	い	も	た
	で	域	ソ	か	し	て	人	出	た	リ	い	ま	で	。特
	取	の	の	も	た	い	も	し	一	が	る	し	き	に
	組	方	ケ	し	ら	る	い	た	人	た	地	た	な	、
	み	と	ア	れ	、	人	い	く	会	く	域	。病	気	認
	が	交	や	ま	認	も	、	も	話	さ	に	な	の	知
	行	流	ボ	せ	症	い	そ	連	を	ん	も	で	ど	症
	わ	を	ラ	ん	に	思	ん	れ	す	い	一			は
	れ	る	ン				な	て	相	ま	暮			ど

東日本大震災で感じたこと	明徳中学校 二年	古川 瑞穂	3・11の東日本大震災は、忘れ	られない日となりました。	私は、学校にいました。帰りの	会ではびまる少し前に強い揺れが	ありました。私は立っていること	ができませんでした。その場に座り込んでし	まいました。恐怖とパニックで身	動きができませんでした。	岩手県、宮城県、福島県の三県	は、私の想像を超える被害を受け	ています。地震の揺れや津波で家	族を失い、ふるさとは一瞬にして
--------------	----------	-------	-----------------	--------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------------	-----------------	--------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

変わり果てました。被災された方	々の心情を推しはかることは、私	にはとても無理なことのように思	われます。	被災された方々は、心の傷が癒	える間もなく、次の日から、生	きるために水や食料、衣類が必要	となりました。しかし、一面瓦礫	の山です。電気、水道などのライ	フライングが使えない状況となっ	てしまったのです。	すぐに全国からボランティアが	集まり、支援活動がはじまりまし	た。集まることだけでは足りない	お金や物資を送る支援をしました。
-----------------	-----------------	-----------------	-------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------	----------------	-----------------	-----------------	------------------

の活動で、赤い羽根の募金活動を	の事務局員になりました。生徒会	今年度の二学期から私は生徒会	ん。行動に移すことが大切です。	ん。しかし、思いだけではいけません。	はずと思、ていました。	私にも少しでもやれることがある	々を助けてあげなければいけない。	心のどこかでは、被災された方	んでした。	と言えらるほどのことをしていませ	今まで私は、ボランティア活動	たことと思います。	あたたかさを感じ、とても感謝し	被災された方々は、めくもリヤ
-----------------	-----------------	----------------	-----------------	--------------------	-------------	-----------------	------------------	----------------	-------	------------------	----------------	-----------	-----------------	----------------

災で強く感じました。	おたと今回の3・11の東日本大震	に行動できる大人にしてくるほ	えや思いを素早く、そして具体的	活動を経験すること、自分の考	このようにな様々なおランティ	ようにしたいと思えます。	し、かり体験をして、反省がない	アとは勝手が違うとは思いますが	っています。被災地のボランティア	お年寄りのお世話をすることにな	体験学習で福祉施設を訪問して、	に行動しました。三年生になると	の募金を集めるために私は積極的	しました。一円でも二円でも多く
------------	------------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	--------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

[illegible]

また、	病院を	訪れまし	た。	ここ	では	車い	す	に	乗	る	体	験	を	し	ま	し	た。	車	い	す	は、	思	い	通	り	に	な	か	な	か	進	ん	で	く	あ	な	い	し、	速	く	押	さ	あ	る	と	と	も	怖	か	っ	た	で	す。	車	い	す	に	乗	っ	て	い	る	高	齢	者	の	人	た	ち	は、	普	段	こ	ん	な	大	変	な	思	い	を	し	て	い	る	ん	だ	な	と	い	う	こ	と	を	考	え	士	せ	ら	れ	ま	し	た。	こ	う	し	た	体	験	を	重	ね	て	い	く	う	ち	に、	私	に	嬉	し	い	出	会	い	が	あ	り	ま	し	た。	私	が	電	車	に	乗	っ	て	い	た	時、	二	人	の	お	年	寄	り	が	電	車	に	乗	り	込	ん	で	き	ま	し	た。	そ	こ	で	私	は、	そ	の	お	年	寄	り	の	方	に
-----	-----	------	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ま	ち	こ	い	度	無	ま	い		く	し	と	っ	と	っ
す	ん	れ	こ	を	視	で	お	私	な	い	言	い	言	席
。	と	か	と	と	を	ひ	お	の	た	言	っ	い	い	を
	答	ら	を	っ	し	い	あ	家	た	葉	て	の	ま	か
	え	は	し	た	し	お	ち	に	ふ	に	く	。	た	ゆ
	る	、	た	り	ま	ば	や	は	う	胸	あ	。	。	お
	よ	何	と	し	っ	あ	ん	、	な	の	ま	。	。	り
	う	か	反	て	た	ち	か	九	気	奥	し	。	。	し
	に	聞	省	い	り	や	い	十	か	か	た	。	。	ま
	し	か	し	ま	、	ん	ま	五	し	パ	。	。	。	し
	た	あ	て	した	冷	に	す	才	ま	ア	私	。	。	。
	い	た	い	。	た	対	。	に	し	っ	は	。	。	。
	と	ら	ま	す	い	し	私	な	た	と	そ	。	。	。
	思	、	す	。	能	て	は	る	。	明	の	。	。	。
	い	き	。	ど		、	今	ひ		る	優			

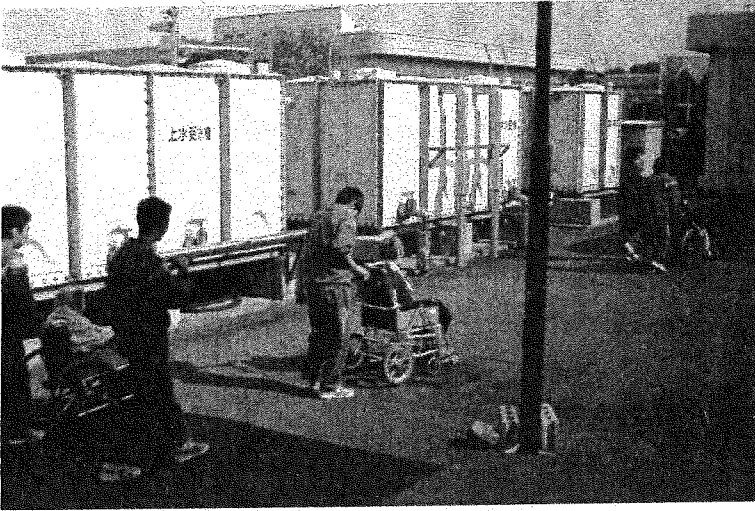
		う	者		な	し	た	考	る	ど		と	っ	
		で	の	今	い	た	に	え	か	う	み	。	高	そ
		し	こ	、	ば	と	何	て	も	で	な	齡	し	て
		。	と	こ	あ	し	か	み	、	も	さん	者	、	、
		う	を	の	で	て	し	下	あ	い	の	だ	私	決
		か	も	社	す	も	ま	さい	ま	い	中	か	は	心
		。	っ	会	。	、	っ	い	。	と	に	ら	決	し
			と	の		そ	た	。	。	思	は	こ	心	ま
			考	た		あ	か	高	し	っ	高	と	し	。
			え	め		は	。	齡	か	て	齡	復	ま	。
			て	に		わ	た	者	し	い	者	し	し	。
			け	も		ざ	と	は	、	る	な	く	。	。
			い	、		と	え	あ	い	人	ん	す	。	。
			。	高		で	何	な	い	か	て	。	。	。
				齡		は	か					。	。	。

[illegible]

イ	う	この	いま	ラン	域		た		イ	か	る		が	一
ア	多	の	まし	ティ	や	僕			ア	か	も	ボ	拳	人
は	く	地	した	ィ	国	は			に	わ	の	ラン	や	暮
成	の	域		ア					取	ら	では	ティ	ら	ら
立	思	を	自分	を	世	み			組	ず	あ	ィ	れ	し
し	い	暮	を	や	界	ん			ん	数	り	ア	ま	の
て	が	ら	犠	っ	に	な			で	多	あ	は	す	老
い	集	し	牲	て	す	が			い	く	り	誰		人
る	まり	やす	に	い	る	暮			ま	の	ま	か		の
と		く	し	る	た	ら			す	人	せ	に		世
思		す	て	と	め	し				バ	ん	強		話
っ	ボ	る	で	考	に	やす				ボ	それ	制		な
て	ラン	と	も	え	こ	い				ラン	に	さ		ど
い	ティ	い		て	の	地				ティ	も	れ		の
ま					ボ									例

した。	ボランテイア活動を取材しに行	つたテレビ番組の中で、あなた	は、なぜボランテイアとして活動	しているのですか、という記者の	質問に、次のように答えていた人	がいました。	「ボランテイアは、みんなのた	めと思われているようにですが、み	んなというのには、自分を含めたみ	んなです。」	巡り巡って自分のため	になり、自分も含めたみんなが幸	福になるからボランテイア活動を	しています。」	僕はこの言葉を聞いて、なるほ
-----	----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	--------	----------------	------------------	------------------	--------	------------	-----------------	-----------------	---------	----------------

いと思いましたが。	みんなのためで間違いいではない	のですが、自分を含めたみんな、	つまり、自分のためにもなるわけ	です。」	ゴミ拾いは、何カ月かすると、	また汚くなるかもしれない。」	れでも毎回参加してきれいにして	いる人がいます。自分の地域や国、	世界の環境をよくするために、そ	して自分自身のためにボランテイ	ア活動に取り組んでいるのです。	僕も募金をしています。それ以	外にも地域のゴミ拾いや、一人暮	らしの老人の雪片付け、安否確認
-----------	-----------------	-----------------	-----------------	------	----------------	----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------



		ち		み	な
		の	み	よ	ど
		た	ん	う	の
		め	な	と	ボ
		に	の	思	ラ
		。	た	っ	ン
			め	て	テ
			で	い	ィ
			は	ま	ア
			な	す	活
			く	。	動
					を
			自		や
			分		っ
			た		て

